

熱中症対策について

開催地区中体連サッカー専門部

□会場 小真木原陸上競技場・東多目的広場・三川中学校グラウンド・庄内町八幡運動公園グラウンド

近年、山形県中体連サッカー専門部では、県総体を開催するにあたり、異常気象（高温、豪雨、雷など）を考慮しながら運営を進めているところであります。それに合わせてJFAの熱中症対策ガイドラインなどを参考にしながら進めておりますが、選手、審判員、チーム関係者の皆さまにご理解いただき、大会運営を行っていきたいと考えております。そこで、以下の点について各チームで徹底をお願いします。

- 試合中にボトルを置いて飲水する指導を大会までの間に各チームで行っておく。
 - ※水だけでなく、スポーツドリンク等を準備する。
 - ※場合によっては、ボトルの中に氷を入れることも可とします。
- 応援の生徒・保護者にも飲水の徹底をする。

○試合の進め方(山形県中体連主催大会)について

パターン A 通常の試合形式（各自で飲水する）

パターンB 飲水タイムを前後半 1 回ずつ（WBGT25℃以上）

- 前半と後半の半ば（15分あたり）に1分程度の飲水の時間を設ける。コーチングは不可。
 - ※密集を避けるように配置を工夫する

- 同点で終了し、PK 戦に突入する場合……
 - 後半終了後、3分間のインターバルを設け、選手をベンチに戻し、飲水させる。

パターンC クーリングブレイク（目安 WBGT28℃以上）

- 前半と後半に1回ずつ（15分ごと）に全員がベンチに戻ってから3分間の休みの時間を設ける。
 - ベンチ内でコーチング等も可。（あくまでも身体を休め十分に飲料することが目的）

- 延長およびPK戦に突入する場合は、パターンBと同様とする。

パターンD 危険状態（目安 WBGT31℃以上）

- 特別な場合として、この場合は試合前に本部から指示。
 - ＜例＞ 試合時間を遅らせる。 試合を一時中断する。
- パターンCに加え、延長戦前半と後半の間にも、3 分間のインターバルに設け、選手をベンチに戻し、飲水させる。

雷 対策について

山形県中体連サッカー専門部
開催地区中体連サッカー専門部

□会場 小真木原陸上競技場・東多目的広場・三川中学校グラウンド・庄内町八幡運動公園グラウンド

雷が鳴った場合(会場付近も含む)

原則、即 試合を中断させます。その後については協議して進めることになります。
(試合中断の判断は、大会本部→第4審判→主審)

選手の健康・体調面を第一に考えた各チームの対応をお願いいたします。

試合中断(主審のホイッスル)



選手はいったんベンチに避難



本部で避難方法および今後の運営を確認



各会場の専門部員で避難の呼びかけ



- ・ 県専門部長 (高山専門部長)
 - ・ 県専門委員長 (寒河江委員長)
 - ・ 開催地区専門委員長 (大須賀)
 - ・ 県サッカー専門部員
 - ・ 地区サッカー専門部員
 - ・ 審判団 (木崎審判委員長)
 - ・ 該当チーム監督 (関係者)
- で協議する。

試合選手 → 小真木原陸上競技場内室内走路 ・ (小真木原総合体育館)
三川中学校校舎内 ・ 庄内町総合体育館内

応援／保護者 → 保護者自家用車 or 待機バスに避難。

↓ 天候が回復(兆しが見込める)した場合

本部で試合再開の時間決定



該当チームに通達 アナウンスおよび緊急連絡先を通して連絡

<例> 『 ○○分後に試合再開します。 』



試 合 再 開

その他の事態が起こった場合、上記のメンバー及び関係者で会議を行い、各チームに連絡する。